

2024年10月2日

## 政策プロフェッショナルプログラム

### プログラムの目的

政策プロフェッショナルプログラムは、高度な実務的専門知識と政策分析能力を有する実務家を養成するという本学建学の理念に沿って、すでに政策に関わる職務経験を十分に積み、基礎的な政策分析能力をも備えた実務家などを対象に、事例研究を軸とした博士論文の執筆を主たる内容とする博士課程のプログラムです。博士論文の作成を通じて、日常業務では気付かない構造的な問題を発見するとともに、論文の作成を通じて構想力を養い、また関連の授業を履修することで、幅広い公共政策に関する知識を身に付けて、実務専門家として一段と高い能力を身に付けることを目的としています。また成果となる博士論文が、関連の学界に対して実務に根ざした実証的な事例研究を提供することで、関連の学問が現実に対してアプローチするのを助けることをも狙っています。

### ディプロマポリシー

政策プロフェッショナルプログラムでは、所定の年限以上在学して、教員の指導の下でプログラムのカリキュラムに基づき、所定の単位数以上を修得するとともに、Qualifying Examination に合格し、博士論文を執筆した上で論文最終発表会を実施し、博士論文審査委員会において合格判定を受けた方に、博士(政策研究)または博士(政治・政策研究)のいずれかの学位を授与します。なお、本プログラムでは、博士(政策研究)の授与を基本とし、入学前に政治学関連分野におけるPh.D.キャンディデートあるいは同等と見なされた者に対して、Qualifying Examination の要件を厳しくした上で、例外的に博士(政治・政策研究)の学位を授与する方針です。

本プログラムで学生が身に付けるべき資質・能力の目標は次の通りです。

- ① 公共政策に関する深い知識を身に付け、課題を多角的に検討して、分析することのできる能力
- ② 社会科学の方法論を用いて、厳密な研究手法をもとに高度な研究活動を遂行することのできる能力
- ③ 研究テーマに関連する公共政策に関する研究成果に基づいて、広く次の課題や政策を構想することのできる能力

# カリキュラムポリシー

## 基本方針

入学を許される学生は、既に高度な実務経験を積んだ者に限られるので、本プログラムでは、むしろ学問的な方法論や既存の研究成果、論文の執筆方法などを集中的に履修することで、高度な博士論文を書くことを支援するのが、カリキュラムの基本的方針です。また、学生の研究テーマは多岐にわたるので、学生にとって必要な知識・能力を身に付けられるよう、コアの科目は確実に履修するとともに、それ以外は柔軟性を持った履修計画が可能となるような構成としています。このプログラムを修了し博士号を得た学生は、原則として所属する組織で、引き続き実務家として勤務することが普通ですが、実務的な知識・能力に加えて専門的な分析能力・構想力を備えた実務家として、さらに活躍の場が広がることを期待しています。

## カリキュラムの構成

学生は、原則として入学後の1年間に集中的に科目を履修することになっており(その後は働きながら論文完成を目指す仕組みで職務との両立に配慮しています)、論文を書くために必要な科目は確実に履修しながら、関連の科目を履修するほか、欠けている能力を補うような科目履修をも含めて、総合的に必要とされる能力を身に付けるような科目配置となっています。また、必要単位外の政策事例研究演習では、異なるテーマを持つ学生が、定期的に研究の進捗状況を報告し、研究成果を発表し、それをもとに討論を行うことで、発表能力の獲得にとどまらず、幅広い観点から課題を検討し、新たな発想を生み出す場として機能しています。

### (必修科目)

学生の過去の学習経験も違うので、それに応じた履修が可能となるように、必修科目は選択制となっていますが、多くの学生が、選択必修科目の全てを履修しています。履修方法は科目によって違いますが、どの科目も学生が積極的に参加することで、主体的な学習が展開されるように構成されており、討論においては実務的な観点と学問的な観点を掛け合わせて、新たな知見を得るような機会が設定されています。

### (選択科目)

選択科目のなかでも公共政策の背景となる基礎的な知識を身に付ける科目については、多くの学生が履修するように指導したうえで、学生の研究テーマに応じて、関連の科目を履修するほか、苦手な分野を補う意味で特定の学問分野における基礎的な科

目の履修を促す場合もあります。

### (研究指導)

主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

### 教育・学修方法にかかる方針

本プログラムの主要な目的は、学術的な水準を十分に確保しつつ、現実世界にとって有意義な博士論文を作成することによって、より高度な実務家として活躍する人材を育成するとともに、そうした実務家が学界に対しても事例の研究を通じて貢献することにあります。そのため、コースワークにおけるカリキュラムも、そうした目的達成のために必要な科目履修を課すところがあり、本人のこれまでの経験などに応じて、必要な能力が得られるように個別に構成しています。そのため、規則上の最低必要単位数 10 単位を超えて理由することも多く、本学で提供された幅広い科目を履修することで、視野を広めることを望む学生には、それに応じた履修指導を行っています。そこで、科目の履修に関しては、ディレクターが個別に丁寧に相談に乗った上で、履修計画を立てます。カリキュラムの構成として、修了に必要な 10 単位のうち、少なくとも 4 単位は演習科目となっています。それ以外の履修科目も、ごく少人数での学習となっているので、個別のニーズに合った指導が可能となっています。

### 成績評価

コースワークにおける成績評価は、それぞれの科目において、授業への貢献度・試験・レポート提出などにより成績評価としています。博士論文の審査は、「学位論文審査体制、方法及び評価基準」に沿って審査し、その可否を判定します。主査・副査に加えて、外部のその分野についての専門家と、学内の非専門家を加えた審査委員会が厳格な議論(点数制による評価によって、中央値が最高点の 5 点になるまで、論文の書き直しを要求)をもとに、審査しており、かなり高い水準の達成を求めています。

## アドミッションポリシー

### 求める学生像

本プログラムにおいては、行政官を中心として、ジャーナリストや政策に関わる NPO の職員、政策実務を教える大学教員など、広く政策に関わる人材において、原則として 10 年以上の実務経験のある者であって、基礎的な学習能力・学習経験を持ち、さらに具体的な研究課題と、それを達成するための手段の確保が見込める者に限って入学を認めています。そこで入学には、修士の学位あるいはそれに相当する経験のほか、

原則として 10 年以上の実務経験が必要で、研究テーマとする分野についての、深い知見・経験を有することが求められます。

#### 審査方法及び審査基準

書類審査においては、学歴と成績、実務経験、職場の理解を示す推薦状を確認するほか、研究計画書に重点を置き、本プログラムにおいて学習を進めるだけの準備があるかどうかを確認するとともに、研究の対象となる分野が本学における指導体制に適合しているかどうかについても検討して、総合的に選考しています。面接においては、研究計画の具体性や、職務との両立が可能な状況にあるかどうかを確認するとともに、柔軟な学習能力を持っているか、博士論文作成に取り組む意欲が十分かどうかを重点を置いて、選考しています。

カリキュラムマップ：政策プロフェッショナルプログラム

区分	科目番号	科目名	ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③
			①公共政策に関する深い知識を身につけ、課題を多角的に検討して、分析することのできる能力	②社会科学の方法論を用いて、厳密な研究手法を身につけ、高度な研究活動を遂行することのできる能力	③研究テーマに関連する公共政策に関する研究成果に基づいて、広く次の課題や政策を構想することのできる能力
区分Ⅱ 選択必修科目	GOV6100J	政策過程論特別演習 (Special Seminar for Policy Process)	○		○
	GOV6910J	事例研究方法論 (Scope and Methods of Case Studies)		○	○
	GOV6920J	社会科学方法論＝質的分析 (Social Science Methodology for Qualitative Analysis)		○	
	GOV6930J	社会科学方法論＝量的分析 (Social Science Methodology for Quantitative Analysis)		○	
区分Ⅲ 選択科目	GOV6110J	日本政治研究特別演習 (Special Seminar for Japanese Politics)		○	○
	GOV6460E	Advanced International Relations in East Asia			○
	GOV6520J	行政学特別演習 (Special Seminar for Public Administration)	○		○
	GOV7101J	政策過程論 (Policy Process)	○		○
	GOV7201EB	Advanced International Relations			○
	GOV7231E	Politics and Diplomacy in Postwar Japan			○
	GOV7241E	Advanced International Security Studies			○
	GOV7311E	Comparative Politics		○	○
	GOV8221E	Politics of Global Money and Finance (Advanced)			○
	GOV8311E	Advanced Comparative Political Economy			○
	GOV8401E	Advanced International Relations in Europe			○
	MOR6300E/J	Mathematical Modeling Analysis / 数理モデル分析		○	
	MOR7011E	Quantitative Data Analysis		○	
	STI6061J	科学技術イノベーション政策概論			○
	Courses not listed on this table	○	○	○	
X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目			